

5章 総合問題5

問題

【1】

解答

遺憾にも、多数の言語がやがて消滅し、民族の歴史が失われるという見方は、方言が多数生まれ、言語が多様化する傾向を見逃すことになる。〔64字〕

別解

多くの言語が消滅に向かい、我々は過去の断片を失ってしまうという考え方は、方言が多数生まれることによる言語の多様化という現実を見逃している。〔69字〕

解説

ℓ. 10の～ of course, ℓ. 11の～ for, ℓ. 13の But, ℓ. 16の～; yet, at the same time といった論理展開を明確にする語句をヒントにし、深読みしすぎなければ解答はそう難しくはないはず。passage全体の構造はℓ. 13の Butに着目すれば「Aだ。しかしBだ。」であることがすぐわかる。

第2段落の第1文が But *this observation overlooks one curious feature of human behavior: our tendency to generate new dialects as fast as we lose others.* とあるので「Aだ」の部分は *this observation* (このような考え方) の内容を指す部分を第1段落から見つければよい。

ℓ. 10の～, of course, ℓ. 11の～, forに着目すれば *this observation = The loss of all these languages will, of course, be a pity. As we lose them, we lose fragments of our past, for languages represent the history of peoples, the accumulation of their experiences, their migrations and the invasions they have suffered.* とわかる。

この部分の内容をまとめると、

- ①「多くの言語が消滅に向かっている」
 - ②「それは遺憾である」
 - ③「言語を失えば、我々は過去の断片（民族の歴史など）を失うことになるから」
- の3点に絞られる。

「Bだ」の部分は

- Butに着目し、第2段落の第1文の④「この考え方は新たな方言が生まれている傾向を見逃している」
- ～; yetに注目し、ℓ. 16以降の～; yet, at the same time, many local dialects have developed whose speakers can hardly understand each other. (しかし同時に話者同士がお互いに理解しあうことがほとんど不可能な、使用が狭い地域に限られている方言が多数生じてきた。), つまり、⑤「方言の誕生による言語の多様性」

以上の①～⑤の内容をまとめればよい。

別解では「失ってしまう」という日本語で「遺憾である」という内容を含ませておいた。

なお最初に「深読みをしないように」注意しておいたが、それについてコメントしてみた

い。例えばℓ. 16～17: ～; yet, at the same time, many local dialects have developed whose speakers can hardly understand each other のところで、「互いに理解しあうのが不可能、だからこの第2段落の文脈で言っている dialects とは方言ではなく distinct languages の言い換えである」と思った人は深読みによる誤解である。ℓ. 2: ～, depending on which you count as dialects and which as distinct language 「どの言語を方言, どの言語を1つの独立した言語とみなすかにもよるが」で言っているように、「方言」と「1つの独立した言語」(個別言語)の区別は明確ではないのである。

このことは語句解説に具体的に詳しく書いておいたので、読んでいただきたい。ただし本文ℓ. 17～21を見るとわかるように、方言から個別言語に発展した言語も確かにあるが、繰り返して述べるように、互いに理解しあうのが不可能な方言がすべてイコール個別言語とはならないのである。

全訳

どの言語を方言, どの言語を1つの独立した言語とみなすかにもよるが、今日世界で話されている言語は、およそ5,000と推測されている。これらに、いまだに学校で教えられている言語(古代ギリシャ語やラテン語), または宗教の儀式で用いられている(サンスクリット語や古代エチオピア語)言語といった、若干の「死語」を加えることができるかもしれない。言語学者は、これらすべての言語の優に半数以上が、母語話者がいなくなるという意味において次の半世紀以内で消滅することになると推測している。こうした言語の大部分は、現在母語話者が1,000人未満で、そのうちの大半が既に年輩者という言語である。この世界がたった2つの言語によって支配されてしまう時代がやってくるかもしれない、という考えさえ述べられるようになってきたのだ。現在の言語の使われ方から見て、この2つが英語と中国語になることはほぼ確実であろう。先に述べたすべての言語を失ってしまうのはもちろん遺憾なことである。それらの言語を失うと、我々は過去の断片を失うことになるのだ。というのも、言語は民族の歴史、民族の経験の蓄積、民族の移住、民族が被ってきた侵略を反映するからだ。

しかし、こうした見解は人間の行動に関する1つの不可解な特徴、すなわち我々には、方言を失うのと同じ速さで新たに方言を生み出す傾向があるという特徴を見逃している。英語は世界中に広まり、すべての大陸において複数の国の共通言語となったばかりではなく、貿易、政治、科学の共通言語となっている。しかし、同時に、話者同士がお互いに理解しあうことがほとんど不可能な地域方言が多数生じてきた。今では大半の言語学者は、ピジン(ニューギニアの「ピジン英語」)、アメリカ黒人英語(アメリカの大都市で主に黒人によって話されている英語の一形態)、カリブ諸国のクレオール語(カリブ海の様々な島の英語)、クリオ語(西アフリカのシエラレオネのクレオール語)、さらにはスコットランド英語(スコットランド低地地方で話されている英語)でさえ、個別言語とみなしているのだ。

注

- ℓ. 1 ◇ estimate = form an opinion or judgement about the quality, cost, size or value of something
- ◇ currently = at the present time
- ℓ. 2 ◇～ depending on which you count as dialects and which as distinct languages 「ど

の言語を方言, どの言語を1つの独立した言語とみなすかにもよるが]

※実は言語学では「言語」と「方言」の違いはまだ明確に定義されていない。例えば津軽方言と琉球方言はお互に通じないくらい違うのに、同じ「日本語」の「方言」と区分されている。一方でお互に通じるが、違う言語(個別言語)とみなされているものもある。一例を挙げるとノルウェー語とスウェーデン語は互に通じる2つの言語である。「こんにちは」はノルウェー語では「ゴッター」、スウェーデン語では「ゲーダー」、「ありがとう」はノルウェー語でもスウェーデン語でも「タック」となる。またスロバキア語とチェコ語も互に通じるが2つの言語である。

- depend on = be determined or influenced by
- which 《疑問詞》
- count A as B = regard A as B
- distinct languages 「1つの独立した言語；個別言語」
- distinct = noticeably different
- ◇ To these ~
- add A to B (AをBに加える) の to B に当たる部分が旧情報として文頭にシフトした形。
- ℓ. 3 ◇ perhaps = expressing uncertainty or possibility
- ◇ a handful of = a small number or amount of
- ◇ dead = (of languages, customs, etc) no longer used
- ℓ. 4 ◇ religious services 「宗教的儀式」
- service = a form of worship, of prayer and praise to God
- ◇ Ge'ez 「ゲーズ語；古代エチオピア語」
- ◇ linguist = ① a person skilled in foreign languages ② *a person who studies linguistics*
< linguistics = the scientific study of language
cf. No sensible world leader professes to be a *linguist*.
(賢明な世界の指導者ならば、外国語が得意だなどと言ったりはしない。)(早大)
The English are poor *linguists*. (英国人は外国語が下手だ。)
- ◇ expect = regard as likely to happen; think or believe that (something) will happen
- 日本語の「期待する」とはイコールではない点に注意。
- ◇ well = to a great extent or degree
cf. be *well* advanced in life (かなり高齢である)
- ℓ. 5 ◇ extinct = no longer in existence
- ◇ in the sense of ~ 「~という意味で」
- sense = a meaning or interpretation of a word or expression
- ◇ native speaker 「母語話者」
- 国籍がどうであれ、その土地の言語の母語話者になることは可能であるので、「母国語話者」という訳語は避ける。
- ℓ. 6 ◇ within = occurring inside (a particular period of time)

- 「今から～後に」なら in を用いる。
- ◇ mostly = ① on the whole; mainly ② usually
- ℓ. 7 ◇ elderly = old or aging
- ◇ The time may come, it has even been suggested, when the world will be dominated by just two languages ≡ It has ever been suggested that the time may come when ~ .
- suggest = put forward for consideration; say or express indirectly
- when : 関係副詞／先行詞は the time
- dominate = have a very strong influence over
- ℓ. 9 ◇ performance : 生成文法の performance (言語運用) という用語を「言語の使われ方」という一般的な意味で用いている。
- ℓ. 10 ◇ pity = a cause for regret or disappointment
- ◇ them = all these languages
- ◇ fragment = an incomplete part
- ◇ ~ , for ... 接続詞／理由の付け加え
- ℓ. 11 ◇ represent = show; describe in a certain way in writing
- ◇ peoples = the members of a particular nation, community, or ethnic group
- ◇ accumulation < accumulate = come or gather together; make or become great in number or amount
- ℓ. 12 ◇ migration = an instance of the act of migrating < migrate = move from one place to another (esp. from *one's* own country to another country)
- ◇ invasion = an act of invading a country < invade = enter (a country) so as to conquer or occupy it
- ◇ suffer = experience (something bad or unpleasant)
- ℓ. 13 ◇ observations = notes, remarks or records of what is observed
cf. the *observation* that the U.S. is more violent than Japan
(アメリカが日本よりも暴力的であるという考え)
< observe = say by way of comment
- ◇ overlook = fail to see or notice
- ◇ curious = strange; unusual; odd; hard to understand; mysterious
- ◇ feature = a part of element of a thing, esp. one that is easily noticed
- ◇ human behavior 「人間の行動」
- behavior は形容詞で修飾されても、不可算名詞として用いられる点に注意。
- ◇ : 「コロナ」 → このコロナは具体例を示す働き。
- ℓ. 14 ◇ generate = produce; bring into existence; cause to be or to occur
- ◇ spread = be circulated or scattered
- ◇ the globe = the earth
- ℓ. 15 ◇ the common language 「共通言語」
- common = belonging to or affecting the whole of a community

- また common language U は「下品な言葉使い」の意味になることもある。その場合の common は vulgar; not knowing or not using the manners, customs, speech, etc. of good society の意味。
- ◇ a national language 「国語」
- national = of a nation
- ℓ. 16 ◇ many local dialects have developed whose speakers can hardly understand each other 「話者同士がお互いに理解しあうことがほとんど不可能な地域方言が多数生じてきた」
- 「互いに理解不可能な方言」というのは「1つの独立した言語（個別言語）」の言い換えだと思った人は早とちり。ℓ. 2 depending on which you count as dialects and which as distinct languages の語句解説を読んで欲しい。
- local = having to do with a particular place or district
- 日本の「ローカル」に当たる「いなかの (= rural)」の意味がない点に注意。
cf. a local physician (地元の医者)
The flower is very local. (その花は一地方に限られる。)
local anesthesia (局部麻酔) ⇔ general anesthesia (全身麻酔)
- develop = start to exist
- whose : 先行詞は many local dialects.
- each other 《代名詞句》
- ℓ. 18 ◇ Pidgin English
- pidgin … (言・社) [ピジン] 言語を異にする人々が通商・交易の便宜的手段として用いる簡素化された混合言語。語彙・文法構造が極度に単純化され、母語として話す人がいないのがピジンの特徴である。Pidgin の語源は一説には business が中国語でなまっとされるように、異なる言語を用いる話者が交易を目的とする意思の疎通をはかるため、互いの言語特徴を自国語に取り込もうとして生まれた言語であり、ピジンがある地域の人々の母語となり、さらに発達して語彙、文法構造、文体の領域で余剰性を高めたものがクレオール (Creole) となる。
- ◇ Vernacular … (社) (地域口語、現地語) 社会言語学の用語。地域、都市など言語社会の現地語ないしは地域口語 (方言) を指す。特にこの語は標準語やリンガフランカ (Lingua franca) と対照して用いられることが多く、例えば Trudgill は非標準的黒人英語 (non-standard Negro English) をアメリカ黒人日常英語 (African-American Vernacular English) と呼び、標準米語とは異なる音韻的・文法的特徴を例示している。
- ℓ. 19 ◇ major = greater or more important; main
- ◇ Creole … 主としてヨーロッパの言語と土着の言語との接触 (Contact) による混合言語で母語として話されているものを指す。クレオール言語 (creolized language) ともいう。カリブ海地域、西・南アフリカ、西太平洋地域などかつての植民地周辺で生じた言語。クレオールは限られた語彙と単純な文法構造を持つピジン (Pidgin) が生長し土着化し、ある言語共同体の母語となったもので、他の言語が

持つ形式的・機能的複雑性を備えている。なお、英語を基盤としたクレオールにはジャマイカクレオールやアメリカのジョージア沿岸諸島のガラ語 (Gullah) などがよく知られている。

【2】

解答

1 e 2 g 3 f 4 h 5 a 6 b

解説

STEP 1 4 = h

まず、下記の対応関係に注目。

Nor was Columbus the first European to reach the Americas [選択肢 h]

Viking ships traveled to North America ~ in about AD 1000 [第4段落]

次に、下記の対応関係にも注目。

Columbus never even saw North America [選択肢 h]

His visits were confined to a few Caribbean Islands and South America [第4段落]

以上より、4に入るのは h であることがわかる。

STEP 2 5 = a

下記の対応関係に注目。なお、カッコ内の語句はわかりやすいよう補ったもの。

a considerable number (of people) ~ were aware of the existence of North America [第5段落]

Those who knew (the existence of North America) [選択肢 a]

以上より、5に入るのは a であることがわかる。

STEP 3 6 = b

まず、下記の対応関係に注目。

Columbus's reputation came under serious attack [第6段落]

The attack on Columbus's image [選択肢 b]

上記と関連して傍証となるのは、下記の対応関係である。

treated the Native Americans ~ very cruelly [第6段落]

bring Americans back to Europe as slaves / the slaughter of Native Americans / see a familiar hero portrayed as a villain [選択肢 b]

次に、下記の対応関係にも注目。なお、前者はわかりやすいよう語順を変えてある。

he did not make an essential discovery [第6段落]

he was not the first to discover America [選択肢 b]

以上より、6に入るのは b であることがわかる。

STEP 4

以上で、選択肢 a, b, h は使用済みとなった。残る c ~ g のうち、空所 1, 2, 3 に入るのはどれか、ということを探っていくことになるが、その前に1つ確認しておきたいことがある。それは、選択肢 e と f の関係である。それぞれ、下記の文言に注目。

few of the ~ stories ~ are true [選択肢 e]

The idea ~ was not true either [選択肢 f]

以上より、もしこれら2つの選択肢を共に使うのであれば、両者の順番は eの方がfよりも先であることがわかる。

STEP 5 3 = f

次の対応関係に注目。

there was some disagreement as to its size [選択肢 f]

Columbus underestimated the size of the earth / he had greatly miscalculated the size of the earth [第3段落]

以上より、3に入るのはfであることがわかる。

STEP 6 1 = e

選択肢 eがfより先行することはSTEP 4で見た通りであり、そのfが3に入る事がわかった以上、1か2のいずれかにeが入る。ここで下記の対応関係に注目。

Historical research ~ has shown that ~ [選択肢 e]

First of all [第2段落冒頭]

このつながりは、無理のない流れであると考えられる。

一方、第2段落冒頭でFirst of allと言っておきながら、その段落の最後になってHistorical research ~ has shown that ~などと述べるのはいかにも噛み合わない展開と言うものであろう。以上より、1に入るのはeであることがわかる。

STEP 7 2 = g

残った選択肢はc, d, gの3つであるが、次の対応関係に注目。

Native Americans had already reached the North American continent well over ten thousand years ago [第2段落]

The notion of “discovering” America only makes sense from a very narrow European-centered point of view [選択肢 g]

このつながりは、無理のない流れであると考えられる。一方、残るcやdには、前後の内容から見て、この組み合わせに匹敵するような必然性が認められない。以上より、2に入るのはgであることがわかる。

全訳

コロンブス記念日は依然としてアメリカで祝われてはいるが、かつてのようではない。1つずつ、コロンブスを「アメリカの発見者」とする神話は崩れつつある。ほんの1世代前には、地球が丸いことを証明するために、いかにして、かのひたむきな船長が小さな船で乗り出し、その過程でアメリカを発見したかをアメリカの生徒は皆習ったものである。e だが、歴史的研究により、コロンブスに関するお馴染みの話のうち、ほとんどが本当でない、ということが明らかになった。

第一に、アメリカ先住民が、優に1万年以上も前に北米大陸に既に到着していた。コロンブスが旅に出る頃までには、偉大なアメリカ先住民の文明が南北アメリカで栄えていたのである。g アメリカ「発見」という概念は、アメリカの多民族社会ではもはや受け容れられないような、極めて偏ったヨーロッパ中心の視点からのみ意味を成すにすぎない。

f コロンブスは地球が丸いことを証明するために旅に出たという考えもまた本当ではな

かった。古代ギリシャの時代より、大半の地理学者や科学者は、大きさに関しては意見が一致しなかったものの、地球が球体であるということは知っていたのである。コロンブスは、地球の大きさを4分の1小さく見積もっていた。死ぬまで、彼は自分が新しい大陸を発見したとは認めなかった。彼は、自分は目的地であったインドに到着したのだ、と主張し続けた。コロンブスは、自分が地球の大きさについて著しく計算違いしていたと認めることができなかったのである。

h コロンブスが、南北アメリカに到着した最初のヨーロッパ人というわけでもなかった。それどころか実際は、コロンブスは北アメリカを見てさえいなかったのだ。彼が訪れたのは、若干のカリブ海諸島と南アメリカに限られていた。ヴァイキングの船が、西暦1000年頃にレイフ・エリクソンの指揮の下に北アメリカに渡航したことが、今日では証拠書類によってきちんと立証されている。ヴァイキングたちは、そこに植民地を作るのを諦めるまで、数年に渡り何度か赴いてはその地を調査していたのである。

多くの中世ヨーロッパ人が、地球は平面ではないことを知っていたのみならず、ヴァイキング以外にも、かなりの数の人が、無論北アメリカという名前ではないが、その存在を知っていた。**a** 知っていた人たちは、それを秘密にしようとした。北東部沿岸の沖にある豊かな漁場のせいだ。イギリスの漁師たちは、コロンブスや有名なイギリス人探検家ジョン・カボットが旅に出るより前に、その海域で漁をしていた。彼らは、長い帰国の途に就く前に、獲った魚を干したり保存処理するための小さな一時的居留地を作ってさえいたのだ。ヨーロッパにおける鱈の重要な市場を独占していたバスク人は、それよりはるか以前に、アメリカ沿岸の沖で漁をしていたようである。

コロンブスに関する神話の多くは歴史的に正しくないという事実は、数十年かけて明らかにされてきた。だが、1990年代前半、彼の最初の（アメリカへの）航海の500周年祭が近づくと、コロンブスの評判は猛攻撃を受けるようになった。彼を称えるべく計画された一般祝賀に、多くの人が反対した。彼が抜本的な発見をしたわけではない、というのみならず、新しい伝記により、コロンブスは虚栄心の強い貪欲な人間であり、その監督下においてアメリカ先住民を惨たらしく虐待した、ということが明らかにされた。**b** 彼はアメリカを発見した最初の人間ではないが、アメリカ人を奴隷としてヨーロッパに持ち帰った最初の人間であり、カリブ海での先住民の虐殺は彼の命令で始まったと考えられている。コロンブスのイメージに対する攻撃はアメリカで極めて多くの議論を巻き起こし、お馴染みの英雄が悪漢として描かれるのを見て、アメリカでは多くの人が腹立たしく感じたのであった。

注

本文

ℓ. 3 ◇ set forth = set out = start a journey

本文

ℓ. 6 ◇ well over ten thousand years ago

○ well は「かなり、相当 (considerably)」の意の副詞で、over は「より多い (more than)」の意の前置詞。

cf. The governess is *well* past fifty. (その女性家庭教師は50をかなり出ている。)

ℓ. 7 ◇ By the time Columbus made his journeys

- by には接続詞としての用法はないので、「SがVするまでには」は、〈by the time S + V〉の形式で表す。

選択肢 f

◇ as to its size : as to … 「…に関して (は) (concerning)」

本文

ℓ. 9 ◇ underestimated the size of the earth by one-fourth

- この by は、〈差異の by〉で「…の分だけ」という意味。

cf. Prices have risen *by* ten percent on average. (諸物価は平均 10%上昇した。)

選択肢 h

◇ Nor was Columbus the first

- これは、文頭の否定語の後の倒置。

◇ In fact

- ①実際は ②ところが実際は ③それどころか：いやむしろ

本文

ℓ. 13 ◇ His visits were confined to ~

- confine A to B = limit A to B

ℓ. 14 ◇ under Leif Erickson : under ~ 「~の支配・指導の下に (governed or led by …)」

ℓ. 15 ◇ a number of journeys

- a number of ~ = ① some ~ ② many ~

ℓ. 18 ◇ a considerable number = a considerable number of people

- ◇ aside from the Vikings: aside from … = apart from … = in addition to …

選択肢 a

◇ waters

- water に -s が付いた waters は「水域；海域；近海」の意。

◇ cure 「(魚・肉類)を(燻製・塩漬けにより)保存する」

◇ the long trip home

- この home は「自宅・郷里・母国へ」という意味の副詞。

cf. the last train *home* (家に帰る終電)

◇ apparently ≐ seemingly

- 「明らかに」という意味を表すなら、clearly や evidently あるいは obviously を使うのが普通。

◇ even earlier

- この even は〈比較級の強調〉。他に、far; much; still; yet も使える。

本文

ℓ. 21 ◇ over the course of several decades

- 〈in the course of 時間〉は「(十分な)時間が経って (when (enough) 時間 has passed)」の意の成句だが、ここで in が over に替わっているのは、「数十年の長きに渡って」という感じで〈時間の広がり〉を表すため。

ℓ. 22 ◇ came under serious attack

○この「猛攻撃にさらされて」という意味の表現における under は、「…されて (being in a state of …)」という意味・用法。後続する名詞が表す動作「を受けて」、実質上の受動態となる点に注意。

cf. It is *under* repair [construction]. = It is being repaired [built].

ℓ. 23 ◇ Not only did he not make ~

○これは、文頭の否定語の後の倒置。

ℓ. 25 ◇ under his administration

○この under の意味・用法は、第4段落の註釈で既述。

【3】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

私の経験では、旅が本当に始まるまでにはいつも時間がかかる。じかに別れの挨拶を述べ、手を振って別れを告げ、列車が動き出す、といったようなことすべてが混乱であり、種々雑多な出来事の衝突である。もう少し時間が経って、その旅が現実に行進し始めた時初めて、ようやくにして本当に旅が始まる。「ああ、ついに出発か。」とその旅人が自身に、あるいは隣の同行者につぶやく。この時旅が始まるのである。

注

ℓ. 1 ◇ leave-taking < take (*one's*) leave = say goodbye

< leave = an act of departing

◇ wave goodbye = express goodbye by waving the hand

◇ start up = begin working (of an engine)

◇ and so forth = and so on; and the like

ℓ. 3 ◇ later on = at a later time

< on = further in time; forward

◇ under way = moving forward; having started

◇ does it ~ : 準否定語 (= only) が前に出たことによる倒置。

ℓ. 4 ◇ mutter = speak low; murmur

ℓ. 5 ◇ close by = near

○ any companion を修飾。

【4】

解答

(1) (G) — (D) — (F) — (C) — (B) — (A) — (E)

(2) ① d ② c ③ b ④ d ⑤ a ⑥ c

解説

(1) それぞれの段落について内容を見ていくと、

- (A) ①「いったんアリューシャン列島に定住すると、ムハト族は部族から真の国家、つまり北米初の国家へと移行した。」から、(A)では「ムハト族の定住後」のことで述べていることがわかる。
- (B) ①「古代ヘブライ人たちが、神のお告げを理解してエジプトにおける捕らわれの状態から脱出したように、また古代ギリシャ人たちが神殿の神官に相談して種族全体に影響を与える、困難な決定を下したように、ムハト族も、そりと船に乗せた本物の（それと絵に描いた）サケの心臓と肝臓をある種の精神的な航海法として用いて、部族の将来を星座を通り抜ける彗星の進路に託したのであった。」
- ③「彼らは無事に北米に達し、現在のアラスカのアリューシャン列島に定住することになった。」
- 「ムハト族がアリューシャン列島に定住するようになった経緯」について述べているので、(B) → (A) となるのではと予想がつく。
- (C) ①「人類学者は、自分たちの研究の成果と、天文学者の研究の成果を比較することにより、ムハト族の本来の居住地からの突然の脱出に関する暫定的な解釈に最近達した。」
- ここでは、「本来の移住地からの脱出」は(B)「到着」→(A)「定住」よりも先にくるのが普通なので(C) → (B) → (A) と予想する。
- (D) ①「この技術の長所は極めて明らかで、ムハト族はカムチャッカ地域の他の部族に比べて予期することのできない自然環境に対する依存度は低かったのである。」
- this technique が第1文にあるので、この this は前の段落で記述があると考えられる。ただし、この this は「これから述べること」を指すこともある。一方 that は必ず「前述したこと」を指す。したがって、(D) は第1段落ではないと予想する。
- (E) ①「ムハト族にとって不運なことに、彼らの『約束の地』は結局はその言葉からは程遠いものであった。」
- 第1文の内容は、定住して初めて体験できることだから「定住」以降のことを述べていると考える。したがって、(C) → (B) → (A) → (E) と予想することができる。
- (F) ①「それゆえ、ムハト族が独自の生活様式と共に、北米へと突如移動したことに、人類学者は当初、当惑した。」
- 「北米への移動」が述べられているので、(C) と共通の内容を述べていると考える。「人類学者は当初～に当惑した」とあり(C)では「a tentative explanation (暫定的な解釈)に達した」のだから(F) → (C) となるはず。したがって(F) → (C) → (B) → (A) → (E) と予想する。
- (G) ①「ムハトは種族と国家の両方に総称として用いられている名称であるが、今では人類学者と環境学者以外からはほとんど忘れられてしまっている。」
- ムハト族の定義がきているので第1段落ではと考える。
- ⑥「捕獲した魚や他の野生動物を単に食べるというよりはむしろムハト族は、それを飼育用の動物として活用したのだ。」
- これが(D)の this technique の内容。したがって(G) → (D) と予想する。
- 以上より

「(G) → (D)」のグループと

「(F) → (C) → (B) → (A) → (E)」のグループに分けられる。

「(G) → (D)」はムハト族がまだ本来の居住地にいた時のことに言及しているし、また (G) ではムハト族の定義が述べられているので、「(G) → (D)」のグループの方が先にくると考えられる。

したがって、正解は (G) → (D) → (F) → (C) → (B) → (A) → (E) となる。

(2) ①「ムハト族は～に起源を持つと考えられている。」

- a 「北米北極圏」
- b 「アリューシャン列島」
- c 「太平洋」
- d 「カムチャッカ」

「今日では誰もムハト族の本来の居住地を正確には知らないが、DNA 鑑定が示唆したところではその祖先はもともと旧ソ連のカムチャッカ半島に住んでいたとのことである。」((G) ②より)

②「次の選択肢のうち、domestication に最も意味が近いものはどれか。」

- a 「移住」
- b 「星座」
- c 「養殖」
- d 「航海」

(G)の⑤From studying this pictorial alphabet, we know that the early Muhat tribesmen caught fish and other wild animals for purpose of cultivation and domestication. の下線部をみてわかるように、domestication (家畜化；飼育化) に最も意味が近いのは、cultivation (養殖) である。

③「次の選択肢のうち、ムハト族が本来の居住地で享受した利点はどれか。」

○ enjoy = possess and benefit from

a 「彼らは自然が示すものを読み取り、その解釈に基づいて行動することができた。」

b 「彼らは、どの部族よりも自然の環境に対する依存度が低かった。」

※ (D) の①に一致する。

c 「彼らは部族から国家に移行した。」

(A) で言及されている通り、これはアリューシャン列島に移住してからのことなので、「本来の居住地」で享受していたことではない。

d 「彼らは星を利用して航海するのに長けていた。」

○ excel at = be very good at (something)

これも「本来の居住地」で享受していたことではない。

④「我々は～によって、ムハト族がとったアリューシャン列島への移住のルートのことを知っている。」

○ know of ~ 「～のことを知っている」(噂などで間接的に知っていることを表す)

a 「ムハト族の移動に関してわかっていることと、その日に生じた天体の動きに

関してわかっていることを比較した人類学者と天文学者」

(C) ①の「人類学者は、自分たちの研究の成果と天文学者の研究の成果を比較することにより、ムハト族の本来の居住地からの突然の脱出に関する暫定的な解釈に最近達した。」と矛盾。

b 「魚の心臓を調べるムハト族の慣習」

(C) ④で、タイヘイヨウサケの心臓についての言及はあるが、アリューシャン列島への移住のルートを知っている理由であるとは書かれていない。

「ムハト文字によって書かれた独特な文書の中で原始的な航海図が示しているのは、ムハト族が、彗星が星座の心臓部を通り抜けたように、彗星の軌跡を辿っていき、そして彼らのそりと船は、タイヘイヨウサケの絵に描いた心臓と本物の心臓で飾られていたということである。」((C)の④より)

c 「北アメリカでムハト国家により使われた旗」

(A) ③に「旗」に関する言及はあるが、これも理由にはならない。

d 「140の文字で記録されたムハト族の詳細な文書の記録の中で明らかにされている『約束の地』の位置によって」

○ reveal = make (previously unknown or secret information) known

(C) ③, ④に記述がある。

⑤「本文によれば、『部族』の状態から『国家』の状態への移行は、～の時に生じた。」

a 「一群の人々が『unchul』という独立した概念としての国家を表す言葉を自分たちの言葉の中に所有するようになる」

(A)の④に「彼らは自分たちのことを語るのに、『国家』を意味する言葉を実際に使った最初の人々であった。」とある。(A)の②, ③は、ムハト族が「部族」から「国家」へと移行する推移を述べている。最終的に、「国家」の状態へと移行したのは、その概念を表す『unchul』という言葉をもつようになった時である。

b 「食糧の自給自足が達成される」

c 「一群の人々が新しい地理上の環境に首尾よく移住できる」

d 「彼らが長老会議の年功序列に基づく制度ではなくて、権力を共有する制度を考案する」

○ seniority = 「年功 (序列)」

b～**d**は、「部族」から「国家」へと移行する途中の事実にはすぎないので**a**が適当と考える。

⑥「ムハト族の生活や滅亡の話は～を示唆している。」

a 「自給自足は民族が生き延びるのには極めて重要であること」

○ crucial = decisive or critical; very important

これは、ムハト族に関する話の一つの具体例にすぎない。

b 「『約束の地』の予言が間違っている可能性と正しい可能性は同じくらいであること」

c 「ある種族がある環境で生存することを可能にさせる技能は、別の環境に適応できなくなる要因となるかもしれないこと」

○ enable A to … 「Aが…することを可能にさせる」

○ contribute to = help to cause

cf. Drinking *contributed* to his ruin. (飲酒があいつをダメにした。)

○ their failure to adapt ~ < they failed to adapt ~

○ fail to … 「…しない」

本文では (G) → (D) → (F) → (C) → (B) → (A) において、ムハト族のシステムが上手く稼動していたことを述べており、(E) で、そのシステムがアリューシャン列島という定住先ではうまくいかず、滅亡の要因となったことを述べている。このことが示唆することをまとめたのがこの選択肢。

d 「2つの完全に異なる科学の分野は、一緒になると地球の我々よりずっと前に住んでいた人々の移動形態について、知る必要のあることすべてを教えてくれること」

○ discipline = a branch of academic study

cf. ecology as a separate *discipline* (独立した専門分野としての生態学)

○ migration < migrate = move to settle in a new area

全訳

(G) ①ムハトは種族と国家の両方に総称として用いられている名称であるが、今では人類学者と環境学者以外からはほとんど忘れられてしまっている。②今日では誰もムハト族の本来の居住地を正確には知らないが、DNA 鑑定が示唆したところではその祖先はもともと旧ソ連のカムチャッカ半島に住んでいたとのことである。③紀元前 3000 年から紀元前 2500 年の間にこの部族は本来の居住地を離れ、ベーリング海を越えて移動し、現在のアラスカの一部となっている区域に定住したようだ。④ムハト族は、北米北極圏の原住民の他の部族とは違って、約 140 の幾何学模様からなる象形文字のようなものを持っていて、その文字を用いて、自分たちの移動に関するかなり完全な記録をつけていたようだ。⑤この象形文字を研究することから、初期のムハト族の男たちは養殖と飼育の目的で魚や他の野生動物を捕獲していたことを我々は知ることになる。⑥捕獲したものを単に食べるというよりはむしろ、ムハト族は、魚や他の野生動物を飼育用の動物として活用したのだ。

(D) ①この技術の長所は極めて明らかで、ムハト族はカムチャッカ地域の他の部族に比べて偶然起こる自然環境に対する依存度は低かったのである。②気候の変化の結果として、ある種の魚が姿を消した場合であっても、ムハト族は食糧における自給自足の方法を既に知っていて、彼らは、囲いとかごを複雑につなげて、ろうそくを置き、その中に魚を追い込んだのであった。③他の部族が、飢饉や北極の水原から流されてきた多くの水に悩まされていた場合であっても、ムハト族には魚や貝の養殖場があった。④彼らが生産した食糧の余剰物は、他の部族と衣類、おの、原始的形態のすきといった現在耐久財として知られるものと交換された。

(F) ①それゆえ、ムハト族が独自の生活様式と共に、北米へと突如移動したことに、人類学者は当初、当惑した。②例えば、残された記録の中には、カムチャッカ近隣の部族との戦争や他の争いがあったという証拠はない。③この移動は、数年ではなくてほんの数カ月以内に、急いで行われたようである。④ある種の魔術的な儀式において、未来を予言するのに魚の心臓と肝臓を用いたムハト族が、魚をさばく際に自分たちの将来の「約束の地」を「読み取った」かも知れないという推測がある。⑤冬にベーリング海を横断するのに用いられた

原始的であるが耐久性のあるそりは、常にタイヘイヨウサケの生命を支える内臓の一部を思わせるもので装飾されていた。

(C) ①人類学者は、自分たちの研究の成果と、天文学者の研究の成果を比較することにより、ムハト族の本来の居住地からの突然の脱出に関する暫定的な解釈に最近達した。②紀元前 2872 年の 7 月、平均して 75 年に一度の割合で地球に接近するハレー彗星が、魚座（北半球の北西の空に見える巨大な魚の形をしている星団）の心臓部を通り抜けた。③アラスカのアリュシャン列島に向かって取られた移動のルートは、北極星と魚座によって、その夜ハレー彗星によって照らされたとおりに、正確に天空に記されている。④ムハト文字によって書かれた独特な文書の中で、原始的な航海図が示しているのは、ムハト族が、彗星が星座の心臓部を通り抜けたように、彗星の軌跡をたどっていき、そして彼らのそりと船は、タイヘイヨウサケの絵に描いた心臓と本物の心臓で飾られていたということである。

(B) ①古代ヘブライ人たちが、神のお告げを理解してエジプトにおける捕らわれの状態から脱出したように、また古代ギリシャ人たちが神殿の神官に相談して種族全体に影響を与える困難な決定を下したように、ムハト族も、そりと船に乗せた本物の（それと絵に描いた）サケの心臓と肝臓がある種の精神的な航海法として用いて、部族の将来を星座を通り抜ける彗星の進路に託したのであった。②そしてしばらくの間、魚座によって告げられたとムハト族に信じられていた予言は、実現したかのように見えた。③彼らは無事に北米に達し、現在のアラスカのアリュシャン列島に定住することになる。

(A) ①いったんアリュシャン列島に定住すると、ムハト族は部族から真の国家、つまり北米初の国家へと移行した。②彼らは隣人であるエスキモー族の慣習である長老会議ではなく、投票によって権力を共有する方式を考案した。③彼らはある種の旗のようなものさえ考案したが、そこには、紀元前 2872 年の例の運命の 7 月の夜に現われた魚座の星が縫い付けられている黒地に、赤いサケの心臓が現われていた。④彼らは自分たちのことを語るのに、「国家」を意味する言葉を実際に使った最初の人々であった。国家を意味する「unchul」という言葉は、血縁や部族を示すものではなく、政治的な単位を意味していた。

(E) ①ムハト族にとって不運なことには、彼らの「約束の地」は結局、その言葉からは程遠いものであった。②近くに住む部族は、耕作とは対照的に、採集と狩猟を行う部族であり、カリブーやシカやノースアメリカンバッファローを食べることに完全に満足していた。③アラスカヒグマは世界で最初の養殖場で養殖されたサケを食い荒らした。④北米の魚や野生の動物は、飼育され養殖されても大変な困難が伴うだけで、結局は交換する食糧がなくなってしまう、ムハト族は地上から姿を消してしまうことになった。⑤彼らは未来を示唆するものを読み取ることに世界一長けた部族の中の 1 つであり、驚くほど自給自足を行っていたが、社会や環境への適応には比較的未熟であったのだ。

注

(G)

① ◇ collectively < collective = having to do with a group or society (of persons, nations, etc.)

◇ race = a group of human beings, animals, or plants descended from the same original stock and having common characteristics

- ◇ largely = on the whole; mostly
cf. the transformation from a *largely* rural into a predominantly urban society (ほとんど田舎的な社会から, ほとんど都市的な社会への変容)
- ◇ except = not including
- ◇ anthropologist = a person who studies the science of man, esp. of the origin, development, early beliefs, customs, etc. of mankind 「人類学者」
- ◇ environmentalist = a person who considers that environment, as opposed to heredity, has the primary influence on the development of a person or group 「環境学者」
- ② ◇ DNA-testing 「DNA 鑑定」
 - ◇ suggest 「それとなく言う [示唆する; ほのめかす]」
 - ◇ ancestor = any of those persons from whom *one's* father or mother is descended
 - ◇ former = belonging to the past or to an earlier period
- ③ ◇ apparently = seemingly; as it seems; to all appearances; according to reports
※ apparently を clearly の意味で用いるのは今日ではまれ, または誤用である点に注意!
 - ◇ break away = escape suddenly
 - ◇ its homeland [②の the original home of the Muhat の言い換え]
 - ◇ emigrate = leave *one's* own country in order to settle permanently in another
 - ◇ settle = make *one's* home in a new place
 - ◇ portion = a part or a share
- ④ ◇ unlike = in contrast to ~
 - ◇ tribe = a social group in a traditional society consisting of linked families or communities sharing customs and beliefs
 - ◇ native = having ancestors belonging to a country from very early times
 - ◇ possess = own
 - ◇ pictorial = of or expressed in pictures
 - ◇ geometric = (of a design) decorated with regular lines and shapes
 - ◇ fairly = relatively; very much
 - ◇ travel = move or go from one place to another
- ⑤ ◇ early = of or belonging to an initial stage of development
 - ◇ tribesman = a man belonging to a tribe in a traditional society or group
 - ◇ cultivation (養殖) < cultivate = grow
 - ◇ domestication < domesticate = tame (an animal) and keep it as a pet or for farm produce
- ⑥ ◇ capture = take or get by force
 - ◇ as ~ 《前置詞》「~として」
 - ◇ breeding stock 「breed するための stock」
 - breed = keep (animals) for the purpose of producing young
 - stock = farm animals bred and kept for their meat or milk

(D)

- ① ◇ obvious = easily seen or understood; clear
- ◇ dependent on = determined or influenced by
- ◇ chance *adj.* = coming or happening by chance; casual
 - ※形容詞として用いられる chance は盲点
 - cf.* a *chance* acquaintance (偶然の知り合い)
 - a *chance* customer (通りがかりの客)
 - a *chance* meeting (偶然の出会い)
- ◇ were other tribes of the Kamchatka region = other tribes of the Kamchatka region were
- ② ◇ when = in spite of the fact that
- ◇ as a consequence of ~ 「～の結果として」
- consequence = a result or effect
- ◇ learn = gain knowledge of or skill in (something) through study or experience or being taught (learn は「学ぶ」ではなく「知る」と覚えておくこと)
- ◇ self-reliant < self-reliance = reliance on *one's* own powers and resources
- ◇ elaborate = involving many carefully arranged parts; complicated
- ◇ series = a number of similar or related things coming one after another
- ◇ arrangement = something made up of things placed in an attractive or ordered way
- ③ ◇ afflict = cause pain or suffering to
- ◇ famine = extreme scarcity of food
- ◇ excess = an amount that is more than necessary, allowed, or desirable
- ◇ drift = be carried slowly by a current of air or water
- ◇ farm = a place for breeding or growing something
 - cf.* an oyster *farm* (カキ養殖場)
- ④ ◇ surplus = an amount left over when requirements have been met
- ◇ trade A to B for C 「B と A (物) と C (物) を交換する」
- ◇ durable goods 「耐久財」
- durable = (of goods) not for immediate consumption and so able to be kept
- goods = products
- ◇ primitive = of or relating to an earliest or original stage or state
- ◇ plow 「すき」

(F)

- ① ◇ initially = at the beginning
- ◇ puzzle = confuse because difficult to understand
- ◇ abrupt = sudden and unexpected
- ◇ distinctive = characteristic of a person or thing, so distinguishing from others
- ◇ life-style = the way in which someone lives
- ② ◇ conflict = a struggle or fight; a battle
- ◇ document = a writing that contains information

- ③ ◇ the departure = the abrupt emigration of the Muhat to North America の言い換え。
 ◇ a matter of ~ : ① *no more than* ② *approximately*
 ◇ A rather than B : 今日の英語では「B でなくて A」の意になる頻度が高い。
- ④ ◇ speculation < speculate = form a theory without firm evidence
 ◇ predict = state that (an event) will happen in the future
 ◇ promised land : 本来は“Promised Land”で聖書の「約束の地」《神が Abraham と、その子孫に約束したカナン (Canaan)》を意味する。ここでは「希望の地；理想の郷」位の意味で用いられているが，“promised land”とあるので「約束の地」と訳出しておいた。
 ◇ clean 「(魚・ニワトリなどから) 臍物を取り除く」
- ⑤ ◇ sled 「そり」
 ◇ invariably = without change or exception; always
 ◇ vital = essential for life
cf. vital organs (生命維持に必要な器官)
 ◇ internal organs 「内臓」
 ◇ Pacific salmon 「タイヘイヨウサケ」《サケ科サケ属サケの総称で、マスノサケ、ギンザケ、ベニザケ、カラフトマス、サケ、サクラマスの6種》
 ※「太平洋のサケ」と訳すのは誤訳。

(C)

- ① ◇ finding = a conclusion reached as a result of an inquiry, investigation, or trial
 ◇ those = the findings
 ◇ tentative = not certain or fixed
 ◇ flight = the action of running away
- ② ◇ once every 75 years 「75年に一度」
 ◇ the Constellation of Pisces 「魚座」
 ○ constellation = a group of stars forming a recognized pattern
 ◇ cluster = a group of similar things placed or occurring closely together
 ◇ quarter 「(羅針盤の) 方位 (東・西・南・北)；方角」
cf. What quarter is the wind in? (風の方向はどちらですか。)
 ◇ the northern hemisphere 「北半球」
 ○ hemisphere = a half of the earth
- ④ ◇ show A (to be) C 「A が C であることを証明する」(C は名詞・形容詞・分詞)
 ◇ trail = route
 ◇ heavenly = having to do with the sky
cf. heavenly body (天体)
 ◇ ~ , their sleds and boats decorated with ~ (分詞構文) = and their sleds and boats were decorated with ~
 ◇ figurative = (of art) representing people or things as they appear in real life; that copies the real shapes or appearance of things

(B)

- ① ◇ As ~, so ... 「～であるように, …である」(～, …には節がくる)
 - ◇ read = interpret
 - ◇ sign 「(神意の) しるし; お告げ; 奇跡」
 - ◇ temple 「(古代エジプト・ギリシア・ローマの) 神殿」
 - ◇ attendant = a person employed to provide a service; an assistant to an important person
 - ◇ affect = have an effect on
 - ◇ entrust A to B = entrust B with A 「A を B に託す」
 - ◇ with = using
 - ◇ painted = (C)④の figurative を受けている。
 - ◇ aboard *prep.* = on or into (a ship, train, or other vehicle)
 - ◇ internal = in *one's* mind or soul
- ② ◇ for a while = for some time
 - ◇ prophecy = a prediction about what will happen
 - ◇ predict = state that (an event) will happen in the future
 - ◇ fulfill = achieve or realize (something desired, promised, or predicted)

(A)

- ① ◇ transition = the process of changing from one state or condition to another
 - ◇ genuine = truly what is said to be
- ② ◇ devise = plan or invent (a complex procedure or device)
 - ◇ ballot = a way of voting on something secretly, usually by means of paper sheet placed in a box
 - ◇ a Council of Elders 「長老会議」
 - ◇ practice = a habit or custom
- ③ ◇ complete with ~ (名詞のあとで) 「～が完備した; ~つきの」
 - (= including something as an extra part or feature)
 - cf.* The book, *complete with* cassette, costs ¥2000.
(カセットつきのその本は, 2千円です。)
 - ◇ sew [sóu] = fasten, join, etc, with a needle and thread or a sewing machine
 - ◇ ~, as it had appeared on that fateful July night in 2872 B.C.
 - as は接続詞
 - cf.* City life (.) *as* you know *it* (.) is bad for the health.
(あなたがたが知っているような都会生活は健康によくない。)
 - it = the Constellation of Pisces
 - fateful = controlled by, or showing the power of, fate; very important
- ④ ◇ signify = mean
 - ◇ blood = family background
 - ◇ designation 「名称; 称号」